

2025年

7月

12日

(土)

11月

24日

(月・祝)

午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

特別展示

江戸のいき

京のはな

洛中の江戸時代



伊万里染付青磁梅花山水文鉢

休館日

月曜休館日

※祝日の場合は開館、翌平日が休館

入館無料

京都市考古資料館一階

特別展示コーナー

主催

京都市考古資料館

後援

(公財) 京都市埋蔵文化財研究所

歴史街道推進協議会





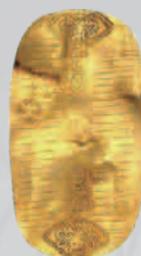
ガラス製チロリの蓋



地鎮土坑埋納品



『京大繪圖：新撰増補』
(国際日本文化研究センター所蔵)



元文小判



鶴文棟端瓦

江戸幕府の成立により日本の首都としての機能は京都から江戸へと移りました。そのため、再び政治の舞台となる幕末期までの京都については、江戸・大坂と並ぶ大都市であったにもかかわらず、意外なほど実態が知られていません。

ところが、現代の寺社の建造物や町並みには、豊臣秀吉による中世京都の「改造」を経て江戸時代に形成され、また、たびたび起こった災害を乗り越えながら今日まで引き継がれてきたものが多く残されています。

今回の特別展示では、最新の発掘調査や研究成果に基づき、新たな解明が進んでいる江戸時代の京都の朝廷・公家、武家、寺社、そして庶民の実像、さらに災害について紹介いたします。



入館無料

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日が休館)

アクセス 市バス「今出川大宮」下車すぐ

市バス「堀川今出川」下車西へ徒歩2分

イベント

遺跡見て歩き

- ① 9月20日(土) 10時～
「二条城跡を中心に」
- ② 11月2日(日) 10時～
「武家屋敷跡を中心に」

時間：10時から約2時間
 場所：各回の集合場所は異なるので、京都市考古資料館のホームページをご確認ください。
 定員：各回15名(事前予約制・先着順)
 料金：1人2,000円
 (保険料込み、当日受付でお支払い)
 申込：各1カ月前から申込受付を開始します。

館長展示解説

- ① 8月2日(土) ② 9月7日(日)
- ③ 10月13日(月・祝) ④ 11月16日(日)

特別展示コーナーでは、展示資料をみながら分かりやすく丁寧にお伝えします。
 時間：14時から約1時間半
 場所：京都市考古資料館1階 特別展示コーナー
 定員：各回10名(事前予約制・先着順)
 料金：1人1,000円(当日受付でお支払い)
 申込：7月12日(土)から受付開始

記念講演会

- ① 8月10日(日)「御所と公家町」
- ② 9月21日(日)「二条城と武家屋敷」
- ③ 10月5日(日)「寺町と洛中の寺院」
- ④ 11月24日(月・祝)「町屋のようす」

普段は一般の方が入ることのできない京都市考古資料館3階の旧貴賓室にて山本館長が特別展示に関する遺跡・遺物について講演します。
 時間：14時から約1時間半
 場所：京都市考古資料館 3階 旧貴賓室
 定員：各回30名
 (事前予約制・先着順)
 料金：1人1,000円
 (当日受付でお支払い)
 申込：7月12日(土)から受付開始

※ワークショップ以外の関連イベントは事前予約制です。
 開催日の前日、17時までに京都市考古資料館の受付へ直接申込または電話にてお名前とお電話番号をお知らせください。

ワークショップ

① 紙ねんど体験—あなたの推しを造形に—
 特別展示室で展示している作品から「自分の推し」を見つけていただき、紙ねんどで「自分の推し」を作ることによって遺物に対する理解を深めていくワークショップです。

② 江戸カルタ体験—私のカルタづくり—

「いろはたとへかるた」は天明年間(1781-1789年)に成立して「京いろは」と呼ばれ、発祥の地は京都と考えられています。
 江戸時代後期に江戸を中心に生まれたのが「江戸いろは」であり、遊びながら教訓やことわざを覚えることができます。自分だけの「江戸いろは」を作り、江戸時代を遊びながら学びませんか。

場所：京都市考古資料館
 日付：①期間中、土・日・祝日のみ
 ②期間中、平日のみ
 時間：9時～15時
 定員：材料がなくなり次第終了
 料金：1人300円
 (当日受付でお支払い)
 申込：申込は不要



京都市考古資料館
 Kyoto City Archaeological Museum

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1
 TEL.075-432-3245 (代) FAX.075-431-3307
 E-mail: museum2024@kyoto-arc.or.jp

京都市考古資料館

<https://www.kyoto-arc.or.jp/museum/>
<https://www.facebook.com/kyotomaibunken>